



インフォメーションディスプレイ

形名

**PN-HW862**

**PN-HW752**

**PN-HW652**

**PN-HW552**

**PN-HW502**

**PN-HW432**

**PN-HW322**

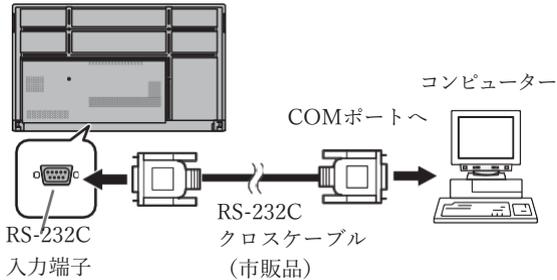
Sフォーマットコマンド取扱説明書

# コンピューターで本機を制御する (RS-232C)

コンピューターの RS-232C (COM ポート) を利用して、コンピューターから本機を制御することができます。「コマンドフォーマット」が「S フォーマット」の場合の説明です。

## 接続のしかた

コンピューターの COM ポート (RS-232C コネクター) と本機の RS-232C 入力端子を RS-232C ケーブル (ストレート) で接続します。本機の端子はメス型コネクターです。



## 通信仕様

コンピューター側の RS-232C 通信仕様を次のように設定してください。

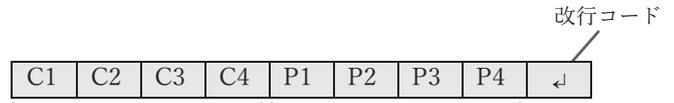
ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし

ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

## 通信手順

### ■ コマンド

コンピューターから本機にコマンドを送ると、それに応じたレスポンスが返ってきます。



**コマンド部分**  
(規定の英数4文字)

**パラメーター部分**  
(数字 +、-、スペース、?  
で構成される4文字)

[例] VOLM0030  
VOLM30

※パラメーター部分が4文字に足りない場合は、スペース(「」)で4文字になるように調整してください。(「」は改行コード (0DH、0AHまたは0DH))

× VOLM30

○ VOLM30

RS-232C コマンド一覧表 (4ページ) の中で、「方向」に「R」と入っているコマンドについては、「?」をパラメーターにすることにより、現在の設定値を返します。

[例]  
VOLM ? ? ? ? ← コンピューターから本機へ  
(現在の音量設定値は?)  
30 ← 本機からコンピューターへ  
(設定値: 30)

## ■ レスポンス

コマンドが正しく実行された場合

O	K	␣
---	---	---

改行コード  
(0D<sub>H</sub>, 0A<sub>H</sub>)

コマンドの終了後、返信されます。

コマンドが実行できなかった場合

E	R	R	␣
---	---	---	---

改行コード  
(0D<sub>H</sub>, 0A<sub>H</sub>)

### ご参考

- 該当するコマンドがない場合や、現在の状態で使用できないコマンドを使用した場合などに「ERR」が返信されます。
- コンピューターと本機の接続が不完全な場合など、通信自体が成立しない状態では、「ERR」を含め返信はありません。
- 周囲環境によるノイズ等が原因で、正しくコマンドが受信できず「ERR」が返信される場合があります。システムやソフトウェアで、コマンドの再送信（リトライ）を行う等配慮してください。

コマンドの実行に時間がかかっている場合

W	A	I	T	␣
---	---	---	---	---

改行コード  
(0D<sub>H</sub>, 0A<sub>H</sub>)

下記コマンドの場合、戻り値として「WAIT」が返ってきます。この場合、しばらく待つと戻り値が返ってきます。戻り値が返ってくるまでは、コマンドを送信しないでください。

- 「WAIT」が返ってくるコマンド  
POWR、INPS、BOMD、WIDE コマンド

## ■ 通信間隔について

- 必ず「OK」または「ERR」が返ってきたあとに次のコマンドを送信してください。  
また、コマンドレスポンスに対するタイムアウト時間を設定するときは、10 秒以上に設定してください。
- コマンドレスポンスから次のコマンド送信までは、100ms 以上の間隔を空けてください。

```
VOLM0020
OK
      |
      | 100ms 以上空ける
      |
INPS0001
WAIT
OK
```

### ご参考

- 電源「切」コマンドを実行したときは、10秒分以上経過してから次のコマンドを送信してください。

## RS-232C コマンド一覧表

コマンド一覧表の見かた

コマンド： コマンド部分 (2ページ)

方向： W 「パラメーター」をパラメーター部分 (2ページ) に設定して使用することにより、「制御/返信内容」に書かれたように機能します。  
R パラメーター部分 (2ページ) に「????」または「\_ \_ \_ ?」を使用することにより、「返信」に示す返り値が得られます。

パラメーター： パラメーター部分 (引数) (2ページ)

返信： レスポンス (返り値)

※： ●：電源「入」と電源待機状態、入力信号待機状態で使えます。  
○：電源「入」と入力信号待機状態で使えます。  
-：電源「入」で使えます。

### 電源制御/入力切換

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※	
電源制御	POWR	W	0		電源待機状態へ移行	●	
			1		電源待機状態から復帰		
		R		0			電源待機状態
				1			通常動作状態
				2			信号入力待機状態
入力切換	INPS	W	0		トグルで入力切換。	○	
		WR		10			HDMI1
				11			メディアプレーヤー
				13			HDMI2
				27			USB-C

### 映像設定メニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※
ピクチャーモード	BMOD	WR	0		標準	-
			4		高輝度	
			8		カスタム	
			22		ショップ	
			23		会議室	
			25		交通機関	
バックライト	VLMP	WR	0-100	0-100		
アスペクト	WIDE	WR	1		ワイド	-
			2		標準	
			3		1:1	
			11		フル	
色温度	CTMP	WR	0		ネイティブ	-
			8		ウォーム	
			13		標準	
			22		クール	
			99		カスタム	
Rゲイン	CRTR	WR	0-255	0-255	「色温度」が「カスタム」のとき、各項目を調整します。	
Gゲイン	CRTG	WR	0-255	0-255	「色温度」が「カスタム」以外のとき設定するとエラーになります。	
Bゲイン	CRTB	WR	0-255	0-255		

# システムメニュー

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※	
日付/時刻設定	DATE	WR	AABBCCDDEE	AABBCCDDEE	AA:年、BB:月、CC:日、DD:時、EE:分	-	
温度センサー設定	STDR	WR	0-1	0-1	0:横長設置、1:縦長設置		
型名	INF1	R		値		●	
製造番号	SRNO	R		値			
キーロック設定	ALCM	WR	0-1	0-1	0:許可する、1:全ロック		
IRロック設定	ALCR	WR	0		許可する		
			1		全ロック		
			2		ボリウム以外禁止		
			3		電源ボタン以外禁止		
モーション	SCSV	WR	0-1	0-1	0:オフ、1:オン	-	
モーション動作間隔	MINT	WR	10-600	10-600	10秒単位(10, 20, 30, ..., 600)		
リフレッシュモード	PREF	WR	0-2	0-2	0:オフ、1:モード、2:モード2		
タイルマトリクス	ENLG	WR	0-1	0-1	0:オフ、1:オン		
	拡大倍率	EMHV	WR	12,13,22,21,31	12,13,22,21,31	m × n を mn で指定。m は長辺方向、n は短辺方向の台数	
	位置	EPOS	WR	1-4	1-4		
	拡大倍率/位置	ESPG	WR	XXYY	XXYY	XX: 拡大倍率(SEMHVと同じ)、YY: 位置(EPOSと同じ)	
額縁補正	BZCO	WR	0-1	0-1	0:オフ、1:オン		

## その他

機能	コマンド	方向	パラメーター	返信	制御 / 返信内容	※
音量	VOLM	WR	0 ~ 100	0 ~ 100		-
消音	MUTE	WR	0~1	0~1	0:オフ、1:オン	
温度異常監視	DSTA	R			0 内部温度正常	
					1 内部温度異常が発生し、電源待機状態	●
					2 過去に温度異常発生(温度異常の情報を消すときは、主電源を切ります。)	
					3 内部温度異常が発生し、バックライト輝度低減状態	
					4 温度センサー異常	
温度取得	ERRT	R		値	温度センサーの温度を返信する。 返信が「126」のときは、温度センサー異常	-
解像度チェック	PXCK	R		-	現在の解像度を○○○、○○○の形で返信	

# コンピューターで本機を制御する (LAN)

本機をネットワークに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本機を制御することができます。「コマンドフォーマット」が「S フォーマット」の場合の説明です。

## ご参考

- 本機をネットワークに接続する必要があります。
- システムメニューの「コントロール設定」の「PC CONTROL」で「PCCONTROL」を許可にしてください。
- 「PC CONTROL」を許可するには、ユーザ名とパスワードを初期値の「ADMIN」から変更する必要があります。

## コマンドによる制御

ターミナルソフトなどを使い、RS-232C コマンド (4ページ) で本機を制御することができます。

ターミナルソフトの説明書も併せてお読みください。

1. 本機と接続する。
  - ① IP アドレス、データポート番号 (10008) を指定し、本機と接続する。  
接続に成功すると、「Login:□」が返信されます。
  - ② ユーザー名を送信する。
    - 「ユーザー名」 + 「□」を送信してください。
    - ユーザー名を設定していない場合は、「□」を送信してください。
    - 送信に成功すると、「Password:□」が返信されます。
  - ③ パスワードを送信する。
    - 「パスワード」 + 「□」を送信してください。
    - パスワードを設定していない場合は、「□」を送信してください。
    - 送信に成功すると、「OK□」が返信されます。
2. コマンドを送信し、本機を制御する。
  - コマンドは RS-232C と同じです。通信手順 (2ページ) に従い操作してください。
  - RS-232C コマンド一覧表 (4ページ) にあるコマンドが使えます。
3. 本機との接続を切断し、終了する。
  - ① 「BYE□」を送信する。  
送信に成功すると、「Goodbye□」が返信され、接続が切断されます。

## ご参考

- 通信のない時間が、「自動ログアウト時間」で設定されている時間経過すると、切断されます。